

「スマート脳ドック」受診者が開業2年で3万人を突破

30～50代の働き世代 約3割に認知症、脳卒中予知に関わる「白質病変」を発見
睡眠や高血圧などの生活習慣に問題を抱える受診者は白質病変疾患率が増加

“脳ドック”に特化した画像診断サービスを提供するメディカルチェックスタジオ（東京都中央区、院長：知久正明 以下「MCS」）は、2018年1月のサービス開始以来、2年が経過した2019年12月時点において、「スマート脳ドック」の受診者数が3万人を突破いたしました。これを機に、3万人分の検査結果を分析し、今後の未病対策に繋がるよう受診者データや各世代別の疾患傾向など一部の情報を公開することといたしましたのでお知らせいたします。

あなたの脳疾患リスクご存じですか？

（脳梗塞・くも膜下出血・脳出血・脳腫瘍など）



脳ドック 銀座1丁目徒歩1分

来院～検査終了**30**分以内

検査結果は**スマホ**に届く

■2年間で3万人に利用いただいた「スマート脳ドック」とは

これまで脳ドックは、「費用が高額」「待ち時間が長い」「結果が出るまで時間がかかる」などの理由から、受診のハードルが高いとされてきました。MCSが提供する「スマート脳ドック」は、17,500円（税別）という低価格、来院からお帰りまで30分、診断結果は1週間後にスマホから閲覧可能、専門医2人のダブルチェックに加えAI画像診断（研究開発中）を実施するなど、検診の利便性や正確性を高め、開院から2年間で3万人にご利用いただいております。

■「スマート脳ドック」 5つの受診者傾向

今後の未病対策に繋げていく為にも、3万人分の受診者データや検診結果を詳しく分析いたしました。受診者傾向については下記のような5つの傾向が見られます。

- ①日本全国（47都道府県全域）からの来院（海外在住者も増加傾向）
- ②全体の約8割は脳ドック検診を初受診
- ③受診者の約8割は40歳代を中心とした働き世代

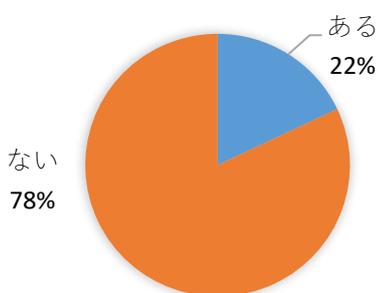
④男女比は6:4

⑤夫婦や親子、カップルなどのペア受診(2名予約)、母の日や父の日などの家族間プレゼントとして「検診ギフト」も増加傾向

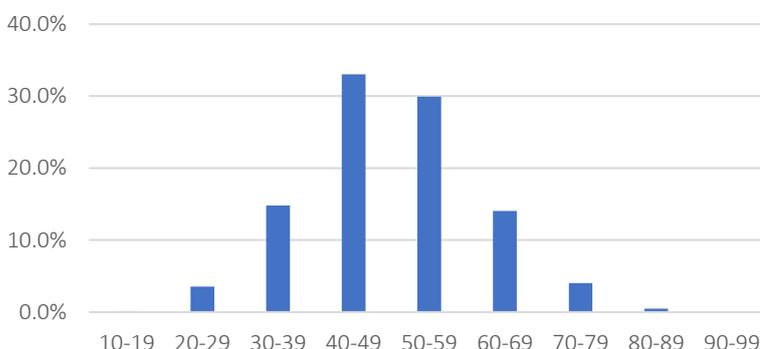
■年代別受診者構成

受診者データを見てみると全体の約8割は脳ドック検診が初受診となっています。また、年代別に見てみると、40代が33%、次いで50代が30%、30代が15%となり、働き世代となる30~50代の受診は全体の8割を占めています。働き世代にとって、スマートフォンで予約、待ち時間無し、30分以内で終了する効率的な脳ドックの需要は年々高まり、今後も増加傾向が進むと予想されます。

脳ドック歴別受診率



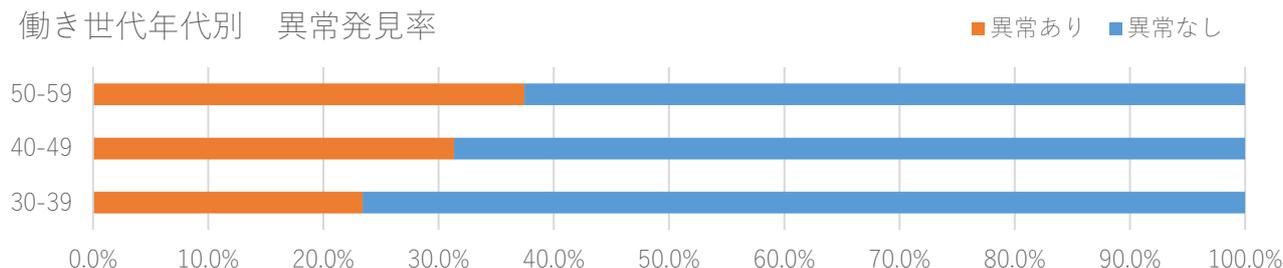
年代別脳ドック受診割合



■働き世代(30~50代)に着目。認知症や脳卒中発症の予知に関わる「白質病変(※)」などの異常発見率

まず、3万人の受診データの中でも30~50代の働き世代に着目してみると、異常発見率は30代で約23%、40代で30%を越え、50代では約40%に迫るなど、何らかの異常が発見されています。

働き世代年代別 異常発見率

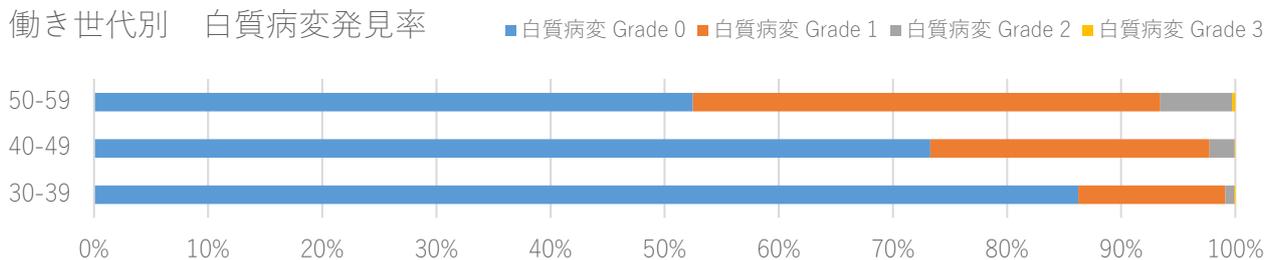


※.白質病変とは、血流が悪いために、髄鞘が壊れたり、血液や髄液がしみ出たりした状態。白質病変によって脳梗塞のリスクが高まると考えられている。

一白質病変の発見率

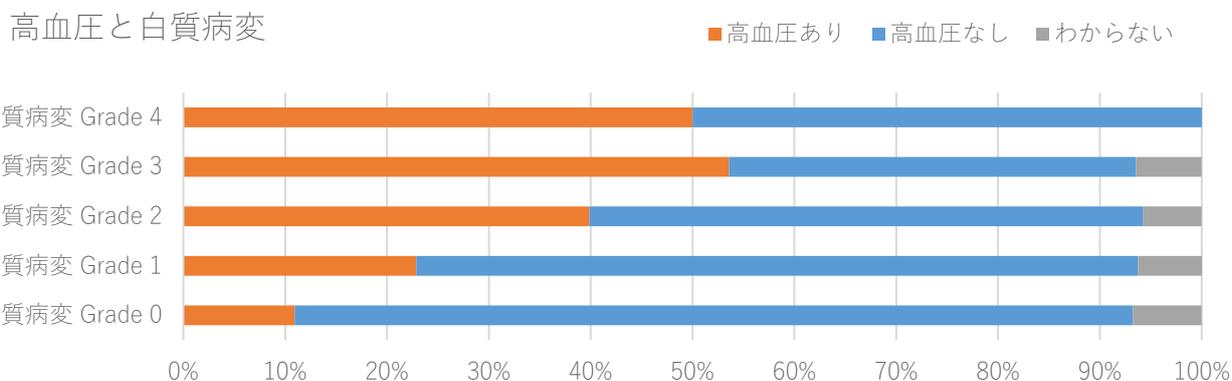
脳内の血流低下がおよぼす「白質病変」は、認知症や脳卒中発症の予知に繋がると言われています。白質病変は、年齢が上がるにつれGredeも上がりますが、働き世代である30~50代では全体の約3割が白質病変に疾患していることが分かりました。その中から世代別に見てみると、30代で約15%、40

代では約 26%、50 代では約 50%と約半数が白質病変の初期症状が発見されています。早期発見による生活習慣改善などで、将来の認知症や脳卒中発症予防に繋げていくことができます。

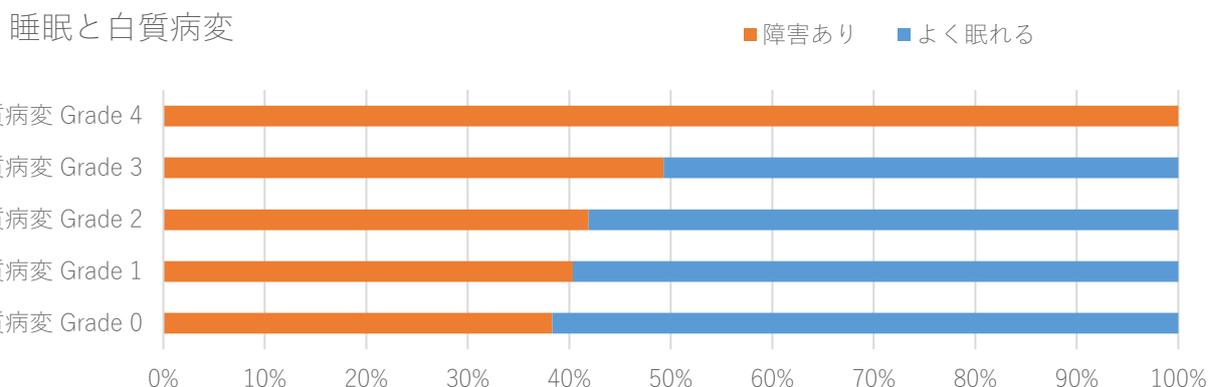


■3万人の全データ中の、睡眠や高血圧などの生活習慣に問題を抱える受診者は、白質病変疾患率が増加 —白質病変と高血圧、睡眠などの生活習慣との関係

全世代を含む 3 万人の全受診者データを元に白質病変と生活習慣に着目しました。まず、受診者の高血圧有無との関係では、白質病変の Grede が高まるにつれ、高血圧の割合が増えています。



また睡眠に関しても、睡眠障害を抱えている回答受診者における白質病変疾患割合は増える傾向にあります。



■「スマート脳ドック」の特徴

「スマート脳ドック」は、「頭部 MRI」「MRA」「頸部 MRA」の診断を行い、脳血管の破裂リスクとなる

脳動脈瘤、脳の血管がつまる脳梗塞、さらには脳腫瘍など、自覚症状のない異常箇所を調べる画像検査です。現在の状態を知ることが未病改善につながります。

<主な特徴>

1. 継続しやすい価格

「脳MRI」「MRA」「頸動脈MRA」が、わずか17,500円（税込18,900円）にて受診可能です。

2. カンタン予約

予約はWebから。検査時間は30分。いつもの服装のまま、スキマ時間に受診できます。

3. 正確専門医2名のダブルチェック体制に加え、AI画像診断（研究開発中）により、見逃しを防ぎます。

4. 安心

専門医の紹介や医療施設との連携など、安心のサポートを提供いたします。

5. 「マイページ」でのデータ管理（撮影から1週間ほどで反映）

スマートフォン・PCで、予約から検査結果の確認、過去の履歴もマイページ上で管理できます。

■メディカルチェックスタジオ(MCS)とは

MCSは、スマートスキャン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：濱野 智章、神山 一彦）およびDクリニックグループのアンファー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：三山 熊裕）がプロデュースし、医学博士 知久正明氏（※）が院長として、2018年1月に開業いたしました。そのコンセプトは「IT×予防医学×検診」。とくに、脳血管疾患の発症を未然に防ぐ検査にフォーカスしています。

主なサービスとして、スマートフォンやPCを活用し、予約から問診、検査結果の通知および管理まで一貫して行えるシステムと、放射線科医師と脳神経外科医師のダブルチェック体制およびAI画像解析補助（研究開発中）を活用したクラウド画像診断により、短時間かつ低価格での受診が可能となる「スマート脳ドック」を提供しています。

今後も「スマート脳ドック」の普及拡大はもちろん、健康経営の促進および生活習慣に起因した病気の予防という観点から、未病の可視化に努めてまいります。

※メディカルチェックスタジオ東京銀座クリニック院長 医学博士 知久 正明（ちく まさあき）

東京都出身、1994年日本大学医学部卒業、2000年日本大学医学部大学院修了。医学博士。国立甲府病院、国立循環器病センター、日本大学医学部循環器内科、敬愛病院附属クリニック院長を経て、2017年12月からMCS東京銀座クリニックを開業。専門分野は循環器内科（心臓血管内科）。日本内科学会認定医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本脈管学会認定医、日本医師会認定産業医、医療法人社団ウェルプレベンション理事長。

■メディカルチェックスタジオ銀座東京クリニック

〒104-0061 東京都中央区銀座1丁目2-4 サクセス銀座ファーストビル 2F

TEL：03-6263-2570

Email：pr@medicalcheckstudio.jp

URL：<https://medicalcheckstudio.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

メディカルチェックスタジオ銀座東京クリニック 広報担当：五十嵐